



みんなでつくる、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。

広報びらとり

Biratori Town Public Relations Magazine

3

2021.Mar.

No.702



第6次 平取町総合計画《後期計画》

令和2年度は、「第6次平取町総合計画」(平成28年度～令和7年度)の、前期5か年が終了する折り返しの年でした。平取町総合計画審議会をはじめ、町長との意見交換会、高校生によるまちづくりプレゼンテーション、アンケート調査等を行いながら前期を総括し、令和3年度以降の後期5か年の計画について協議を重ねてきました。

その成果がまとめられ、令和3年2月3日付で平取町総合計画審議会長(代理…津川副会長)より、平取町長へ答申がされました。答申内容は次のとおりです。



前期計画(平成28～令和2年度)の評価

人口維持に向けた目標値が未達成の見通しであり、財政状況については目標を達成している面があるものの、基金残高が減少傾向にあるなど、将来に負担を残さないという観点では、厳しい見通しです。

目標設定の見直し

＊まちづくりのテーマ

みなでつくる、未来へつなぐ。

あふれる笑顔、びらとり。

＊目標人口(令和7年度)

4800人↓4500人

＊実質公債費比率18%以内

目標値 9.0%↓6.0%

＊基金残高

目標15億円以上

＊起債

財政の健全化を計る「主要財政指標」を確認しながらバランス等を勘案しつつ、国道支出金等特定財源の確保を図り、町債を発行する場合は、交付税措置のあるも

のを最大限活用することとし、具体的な起債金額は定めませんでした。

基本計画

基本計画はこれまでの5つの基本目標を踏襲し、これに基づき実施計画を策定することとして、特に変更は行いませんでした。

第1「豊かな心を育むまちづくり」(教育・文化)

第2「健康で楽しく暮らせるまちづくり」(保健・医療・介護・福祉)

第3「活力を生むまちづくり」(産業)

第4「快適に暮らせるまちづくり」(生活環境)

第5「みんなで歩む協働のまちづくり」(町民活動・行政活動)

地域別ビジョン

地域での意見交換会において、まちづくりの基礎となる自治会活動の維持、継続について懸念する声が多く聞かれたことから、連合組織である自治振興会に注力し次の方向性に従って今後の5

年間に取り組みます。

〈方向性〉

○自治会連合組織である「自治振興会」制度の活用と活性化を図る。

○近隣自治会との連携を図るため、地区協議会(仮称)の組織化を検討する。

○自治会と行政の連携・情報提供のために、地区担当制度や連絡員制度の充実を図る。

○その他、災害・事故に備え、町としては災害時における危機管理体制の充実を図り、自治会・町・関係団体が連携を強め安心な地域をつくる。



平取高校生まちづくりプレゼンテーション

《めざす地域像》

【本町地区】

平取町の中心地区として相應しい、機能性とにぎわいのあるまちづくりを進める。

【振内地区】

地域の財産を活かしながら、新規就農者などの継続的な受入れや新産業の誘致により、市街地の活性化と活気ある地域をつくる。

【貫気別地区】

豊かな自然環境と一次産業を活かし、地域に根付いたコミュニティを基礎に、安全で安心な地域をつくる。



ニシパランチ(食育推進事業)

事業実施計画

事業実施計画は、ニーズに即した対応が図られるよう、今後3年間の事業について毎年見直しを図る作業を行っていますが、今年は第6次総合計画の最終年度である令和7年度までの計画の見直しを行いました。

事業実施計画登載事業

- 教育・文化…44事業、保健・医療・介護・福祉…6事業、産業(観光含む)…47事業、生活環境…55事業、町民活動・行政活動…14事業計166事業
- 町長公約・所信関連事業(抜粋)
- 平取町学習塾運営事業
- 重要文化的景観保護推進事業
- イオル整備事業
- 「21世紀アイヌ文化伝承の森」推進事業
- 大学間連携共同推進事業
- アイヌ文化環境保全対策事業
- イオル文化交流センター建設事業
- 二風谷地区(二風谷コタン)整備事業
- 二風谷地区再整備事業



コシノジュンコ先生ワークショップ(アイヌ文化のブランド化推進事業)



キックバイク(町民税1%まちづくり事業)

- アイヌ伝統工芸品産業振興支援事業
- アイヌ文化のブランド化推進事業
- 食育推進事業
- 小中学生の給食無料化
- 新規就農者用リース農場整備事業
- 就農促進対策事業
- 就農チャレンジ農場整備事業
- 優良肉用牛繁殖素牛導入および、びらとり和牛拡大支援事業
- 町有林造成事業
- 地場産業振興融資事業
- 中小企業振興対策事業
- 商工業振興対策事業
- 道路施設整備事業
- 橋梁長寿命化修繕事業
- バス運営費補助事業
- 地域公共交通活性化事業
- 空家等対策推進事業
- 移住・定住空家等活用事業
- 民間賃貸共同住宅整備費助成事業
- 公営住宅建設事業
- 廃棄物系バイオマス利活用事業
- 移住対策強化
- 町民税1%まちづくり事業
- 公共施設等総合管理計画策定事業
- 将来の市街地整備に関するグランドデザインの検討
- 中高生のまちづくりへの関与
- 道の駅整備検討事業

絵本「オプシヌプリの伝説」制作ストーリー



「オプシヌプリの伝説」にはアイヌ語冊子が付き、逐語訳＋単語リストが掲載されています。(右)
また、2020年4月～2021年3月までのカレンダーも制作されました。(左)

新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、たくさんの企画をして、平取町を広める活動ができればと考えております。



山本 敦子 代表



(裏表紙より)

おかげさまで、無事に絵本ができました。見かけることがありましたら、ぜひ、読んでいただくと嬉しいです。



遠藤 光江 さん



(28ページより)
※画像は笑顔にした場合のイメージ。

「かえーるCLUB」によるリメイク

遠藤さんが絵本を完成させた後「かえーるCLUB」により3度目の絵本の製本化(リメイク)が実現しました。「かえーるCLUB」は、町内の様々なスキルを持ったママ友が集まり、平取町を広めようと平成21年に結成された「町おこしサークル」です。これまで町内ツアーなどを企画してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントができなかったため、移動を伴わない町おこし活動に取り組むことにしました。

遠藤さんが絵本を完成させた後「かえーるCLUB」により3度目の絵本の製本化(リメイク)が実現しました。「かえーるCLUB」は、町内の様々なスキルを持ったママ友が集まり、平取町を広めようと平成21年に結成された「町おこしサークル」です。これまで町内ツアーなどを企画してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントができなかったため、移動を伴わない町おこし活動に取り組むことにしました。

「かえーるCLUB」名前の由来

- ① 平取にやってきた人が、また平取に「かえーる(戻る)」ように。
- ② 町にカエルが多く、縁起物のイメージもあるため。



絵本制作メンバー

後列左から 水沢 美有希 さん 楠 珠美 さん 川上 万世光 さん
前列左から 山本 敦子 代表 遠藤 光江 さん 池川 由紀子 さん

原作者・遠藤 光江 さんのおはなし

絵本「オプシヌプリの伝説」は、アイヌの伝承を元に作られました。伝承のあらすじは、『昔、十勝アイヌが沙流川に攻めてきた際、オキクルミカムイ(アイヌに生活文化を教えた神)が、互いに血を流すことを避けるために技比べを提案し、オキクルミがヨモギの矢をつがえて山を射て、見事に岩山に穴が開いたのを見て、十勝アイヌは度肝を抜かれて逃げ帰り、それ

から、山の後ろにはヨモギがたくさん生えていて、この穴あき山が「オプシヌプリ」である。』という内容です。
平成18年度に平取町文化連盟の有志による取組みで生まれたこの作品に、3回目となる製本が行われました。この機会に、「オプシヌプリの伝説」の原作者にこの作品についてお話を聞かせていただきました。

平成18年、ふるさとに伝わる「伝えたい物語」をデジタル絵本にしてホームページで紹介するという「北海道企画振興部地域再生グループ」の企画に、平取町有志の「伝えたい物語実行委員会」がデジタル絵本「オプシヌプリの伝説」を作成し、応募したことが始まりで、遠藤さんはその代表を務められました。
実行委員会には、遠藤代表所属の絵画サークル「仔馬の会」の会員をはじめ、布の絵本、ツールペイントサークル、教育委員会職員などの絵本づくりに賛同する委員が集まりました。

「オプシヌプリ」を題材にしたのは、当時あまり知られていなかったこの物語を、多くの子どもたちに知ってもらいたいという思いからでした。キタキツネの親子が語りべとなつてストーリーが展開するアイディアは、遠藤さんの考案で、取り組む段階ですぐにイメージがわいてきました。……
制作が始まり、下絵が描き終わったところ、画法について話し合われ、遠藤さんは、日本画のカラー絵本を提案しましたが、絵画サークルの指導を行っている児玉美和子さんに教わりながら、「スチレン版画」という技法をもちいて、有志一人ひとりが一面ごと原版をつくることになりました。全員が版画に携わるのは小学校以来で、慣れるのに時間がかかり左右反転を間違ふなど、初歩的なミスもあつたそうです。また、アイヌの服装を平取側と十勝側に描き分けるなどの苦労がありました。

完成した絵本は、道の「伝えたい北海道の物語」のデジタル絵本企画に応募作品として出展しました。版画を画法とした作品はこの本のみで、数ある作品の中、「奨励賞」を受賞し、道のホームページの「デジタル絵本館」に掲載され、多くの子どもたちに知ってもらいたいという願いが叶いました。
絵本としても100冊程製本され、町内施設などに配布されました。最終的に手元に2冊残り、遠藤さんはその2冊を今も大切に保管しています。……
平成21年には「平取町民税1%まちづくり事業」の支援で、この物語が再び絵本として子どもたちのもとへ届けられました。

まちのひろば

2/3

初午祭

祭神の源義経公が、馬を大事にした騎馬武者であったため、毎年2月の最初の午の日に、「初午祭」が行われています。今年2月3日(水)が初午でありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、最小限の人数で行われ、時間も短縮されました。

例年どおり社殿内にて祭儀が行われた後、境内で今年の凶方位である南南東に馬上から破魔矢を3本放つ「矢刺しの神事」が行われました。この「初午祭」には祈願成就のご利益があり、昭和48年頃から続いていると言われています。



2/19

新消防車の配備

2月19日(金)、振内分遣所に新たな消防車「振内1号車」が配備されました。水800リットル、消火薬剤のほか、エンジンカタールやチェンソー等の資器材を積載した、火災現場最前線での消火活動が可能な最新機能を備えた消防ポンプ自動車です。総重量が7.5トン未満と

軽量で、準中型免許で運転ができる扱いやすい車両となったことで、火災や災害により迅速に対応できるようにしました。見学希望の方は、ぜひ、振内分遣所にお申込みください。



3/5

シシリムカアイヌ文化祭展示会

3月5日(金)〜7日(日)、「シシリムカアイヌ文化祭展示会」が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策のため、舞台発表は中止となりました。作品、研究成果の他、写真、映像等のコーナーは充実し、ゆつくりと作品を楽しめる内容となりました。来場者から「みんな手

の込んだ作品があつて素晴らしい」、「アイヌ文化に触れる良い機会。子どもにもよい勉強となりました」などの感想が聞かれました。また、先着50名に「アイヌ文化振興公社・イオルグループ」が生産したイナキビがプレゼントされ、喜ばれていました。



3/7

平取町地域おこし協力隊活動報告会

3月7日(日)、ふれあいセンター小会議室において、「平取町地域おこし協力隊活動報告会」が開催され、地域おこし協力隊の柴田幸宏氏、植松由貴氏の両名から、協力隊の活動報告がありました。これまでの活動内容を、プロジェクトでの映像を交えながらわかりやすく振り返り、成果を聞かせてい

いただきました。発表後の感想では、「大勢の前で報告会をして緊張した」、「もっと技術を高められるよう、活動していきたい」との声が聞かれました。会場には、2名が制作した織物、木彫り作品等が展示され、その作品からも成果を感じ取れる報告会となりました。



3/7

成果物公開セミナー

3月7日(日)、ふれあいセンター小会議室において、平取町地域活性化協議会による「成果物公開セミナー」が開催されました。

平成24年から行われてきた「実践型雇用創造事業」が今年度で終了となるため、その集大成として、これまでの活動の成果である、アイヌ紋様を

取り入れた商品、食材開発、アイヌ文化を通じた交流体験プログラムツアーなどが紹介されました。活性化協議会の互野慎一氏は「たくさんの人たちに参加いただきとても嬉しい。これからも地域の活性化の一助となるよう貢献していきたい」と、話されました。



2/2

高齢者叙勲受賞

昭和60年から平成5年までの2期8年間、平取町収入役としてご活躍された磯野稔氏が、国から叙勲(瑞宝双光章)を受けられました。磯野氏は「沙流川ダム地域振興基金制度」や「人づくり振興基金制度」の運営に尽力されるなど、地域の活性化に大きな功績を残されました。



磯野 稔氏 (本町)

令和2年度電源立地地域対策交付金事業の報告

二風谷発電所・岩知志発電所・奥新発電所の影響緩和のために、電源立地地域対策交付金が交付されています。今年度は、平取町国民健康保険病院の厳しい経営を緩和するために、病院運営費へ電源立地地域対策交付金513万9千円を充当しました。今後とも病院運営費への充当を検討します。



2月15日(月)～19日(金)にかけて、二風谷地区に全国の大学生を招き、「大地連携ワークショップ」が開催されました。19名の学生が参加しましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、緊急事態宣言区域の6名はリモートによる参加となりました。来町での参加者には事前にPCR検査を行うなどの感染症対策が講じられました。

5日間を通して刺繍・木彫・



ムックリ・アットウシ織り等、貴重なアイヌ文化を体験し、最終日には今回のワークショップの成果について「グループ発表会」が行われました。アイヌ文化を発信し、広めるために有効なアイデアが次々に提言され、充実した発表会となりました。



地域貢献ありがとうございます



㈱米澤電機商会（代表取締役 山本 敦子 氏）より、「住民が明るく安全に駐車場を利用できれば」と、役場来庁者駐車場に照明器具の設置工事をしていただきました。町長より感謝状が贈呈されました。ご厚意に感謝いたします。



㈱磯田組（代表取締役 磯田 洋一 氏）より、「平取町ちょっと暮らし住宅」振内1号住宅の木柵撤去等作業をしていただきました。町長より感謝状が贈呈されました。ご厚意に感謝いたします。

寄付ありがとうございます

□ 日高寺（檀信徒一同）より寄付がありました。ご厚意に感謝いたします。

すこやかだより

保健福祉課からのお知らせ

免疫力を維持して健康にすごしましょう！

免疫力とは、細菌やウイルスなどの病原体から体を守る防衛能力のことです。現代では生活習慣の乱れやストレス等により体の免疫システムがうまく働かず、免疫力が低下している人が増えています。気温が低下する時期は、感染症が流行するシーズンなので、ご自身はもちろんのこと、ご家族や周囲の方々も含めて免疫力を高める生活を意識しましょう。

○免疫力が低下する要因

- ・加齢
- ・睡眠不足
- ・ストレスの多い生活
- ・不規則な生活
- ・栄養の偏り
- ・野菜やタンパク質不足
- ・寒さや乾燥
- ・季節の変わり目の激しい気温の変化

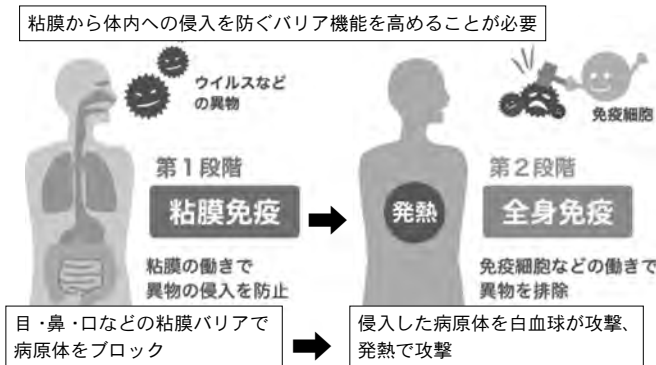
等が、免疫力の低下の要因とされています。

○免疫力の仕組みの基本

体には、細菌やウイルスなどの病原体を体内に侵入させない「粘膜免疫」と、粘膜を突破して体内に侵入してしまった病原体と戦う「全身免疫」とい

う2段階の免疫システムが備わっています。

免疫システムのイメージ図



○免疫力を維持する健康習慣
適度な運動
「軽く汗をかく程度」の運動は免疫力を高めるのにおすすめです。

バランスのよい食事

健康な毎日を送るためには、5大栄養素（たんぱく質・脂質・炭水化物・ビタミン・ミネラル）をバランスよく摂取することが大切です。栄養素はそれぞれが助け合って様々な働きをす

～青ちゃんオンライン料理教室でのメニューを紹介～ 【すぐ固まる！りんごヨーグルトムース】

- 【材料（2人分）】
- りんご 1個（約200g）
 - ヨーグルト 200g
 - 牛乳 50ml
 - 砂糖 30g
 - ゼラチン 5g



【作り方】

- ①りんごは芯を除き、一口大に切って冷凍します。（フリーザーバック等に入れ2時間程度）
- ②小鍋に牛乳と砂糖を入れて火にかけ沸騰したら火を止め、ゼラチンを入れよく混ぜます。
- ③ヨーグルトをボウルに入れ、泡立て器でよく混ぜます。
- ④粗熱を取った②を③に入れさらによく混ぜ、冷凍りんごを入れて軽く混ぜ合わせます。
- ⑤器に④を盛り付け、5分程おいて完成です。

るため、ひとつでも不足すると体が正常に働けなくなり、体調を崩すことにもつながります。また、5大栄養素以外にも、乳酸菌や麹菌等の発酵食品も積極的に摂取することをおすすめします。

規則正しい生活リズム

朝の起床時間・夜の就寝時間を規則正しくすることで自律

神経のバランスが整い、免疫機能を維持します。

また、このほかの感染リスクを減らす健康習慣として、うがいや歯磨きなど、病原体の侵入口のひとつである口腔のケアも、とても大切です。

【問い合わせ先】

保健福祉課 保健推進係
☎ 4・6112

教育委員会からのお知らせ

令和2年度 平取町教育奨励表彰 1個人、3団体に授与！



2月18日(木)、中央公民館において「令和2年度平取町教育奨励表彰授与式」が開催され、1個人・3団体に、教育長より「社会教育奨励表彰」として表彰状および記念品が授与されました。

【社会教育奨励表彰】

・谷口幸治様

スポーツ推進委員（平成24年度・令和元年度）、平取町体育連盟理事長（平成26年度・令和元年度）を歴任し、野球スポーツ少年団や平取中学校野球部の外部コーチ、平取町スキー協会会長を務める等、各スポーツ事業の先頭に立ち、町内のスポーツ振興・発展に尽力されました。

また、放課後子ども教室のコーディネーターとしても活動し、多方面で子ども達を見守り、青少年の健全育成に貢献されています。

・平取町自治振興会

会長 原田重夫様

平成17年度に全町の小学生382名に防犯ブザーを寄贈して以来、現在まで小学校新入学児童に防犯ブザーを寄贈し続け、子ども達の安全確保に大きく貢献されています。

・平取町商工会女性部

部長 仲山美枝子様

昭和55年から現在まで、毎年、小学校新入学児童に対し、愛の鈴を作成、寄贈し、子ども達の安全確保に、長年貢献されています。

・おはなしサークル絵本の扉

代表 鍋澤久美様

平成12年に発足し、同年4月から21年間の長きにわたり、紫雲古津小学校において、継続して絵本、紙芝居、童話等の読み聞かせを中心に読書支援活動をされています。現在は、朝の読み聞かせを週1回実施しており、紫雲古津小学校の子ども達の豊かな心の育成、健やかな成長に大きく貢献されています。

ミニ理科教室

実験、ものづくりを通じて、科学の世界に興味や関心を持ってもらうため、2月25日(木)に「二風谷放課後子ども教室」、3月4日(木)に「紫雲古津放課後子ども教室」において「ミニ理科教室」が開催され、両教室合わせて32名が参加しました。

例年、中央公民館で実施している「子ども公民館講座 理科教室」が、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できないことから、放課後子ども教室で「ペットボトルトルネード」「電気クラゲ」「紙ジャイロ」などの実験が行われました。電気クラゲでは、クラゲを浮かせる実験に苦慮している様子でしたが、安全管理員の方々の協力で、すぐに上手に浮かせることができました。

子どもたちからは「電気クラゲを浮かせる事ができて楽しかった」「実験をしたことがなかったのでできてよかった」という感想が寄せられ、楽しみながら学ぶことができました。

日高管内 教育実践表彰受賞

「北海道ふるさと教育観光教育等推進事業」の実践校および協力校として、振内小学校が総合学習の時間に、地域の関係団体と連携した「アイヌ文化学習」に取り組みました。

授業改善や地域に貢献する人材の育成に大きく寄与した功績により、「令和2年度日高管内教育実践表彰」を受賞し、2月16日(火)に中央公民館で、小原直哉日高教育局長から水上義則校長へ表彰状が授与されました。

小学校へ ハンドソープ寄贈

公益財団法人 苫小牧地方法人 会平取支部（支部長 小林史明氏）では、新型コロナウイルス感染症対策に役立てるため、町内の福祉施設や教育施設に衛生用品を提供しています。

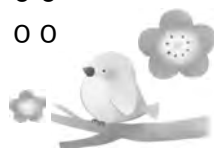
この事業の一環として町内小学校5校にもハンドソープが寄贈されました。ご厚意に感謝いたします。



図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30 ～ 18:00
土・日曜日 9:30 ～ 17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館



図書館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■ は休館日です

新着図書

【小説・エッセイ】

『灰の劇場』／恩田陸
『代理母、はじめました』／垣谷美雨
『ヴィンテージガール』／川瀬七緒
『俺と師匠とブルーボーイとストリッパー』／桜木柴乃
『168 時間の奇跡』／新堂冬樹
『ジャックポット』／筒井康隆
『いわいごと』／島中恵
『猫がなくなった』／保坂和志
『おたがいさま』／群ようこ
『湯どうふ牡丹雪』／山本一カ

【児童書】

『子どもへのハラスメント』／喜多明人
『平和の女神さまへ 平和ってなんですか?』／小手鞠るい
『Mガールズ』／濱野京子
『ふしぎ駄菓子屋銭天堂によこそ 公式ガイドブック』／廣嶋玲子

【医学・社会・その他】

『青天を衝け 渋沢栄一とその時代』／NHK 出版
『やさしくわかる抗がん剤の副作用とその対処法』／酒井リカ
『記憶する体』／伊藤亜紗
『こどものアレルギー基礎BOOK』／今井孝成
『65 歳からのふたりごはんの愉しみ』／石原洋子
『キッチンからはじめる再生栽培』／原由紀子
『警備員さんと猫』／にごたろ
『地球一周365日世界遺産絶景の旅』／富井義夫
『友情』／山中伸弥

【絵本】

『まだまだまだまだ』／五味太郎
『ぴぽん』／内田麟太郎
『はらすきー』／あきやまただし
『ちかてつサブちゃん』／みやにしたつや
『うみがめのおじいさん』／いとうひろし

返却忘れ、ありませんか？

年度末の大掃除や進学・引っ越しなどで、図書館で借りた本などが間違えて捨てられてしまうことがあります。返し忘れていた本・DVDなどがいないか、確認をお願いします。また、図書館では本の寄贈を受け付けていますので、不要の本がありましたら図書館までご連絡ください。※出版年が古いものはお断りする場合があります。ご了承ください。

おすすめ紹介

『カレンの台所』／滝沢 カレン
(サンクチュアリ出版)
タレントの滝沢カレンさんの、料理の手順が物語のように綴られた“超感覚派”な料理レシピ本。材料・何グラム、大さじ1/2...などの一般的なレシピ本が苦手という方は、一度試してみてください。はいかがでしょうか。



【問合先】 平取町立図書館

TEL 01457-4-6666

FAX 01457-4-6871

メール risu2@guitar.ocn.ne.jp

「リトルラビットクラブ」閉講



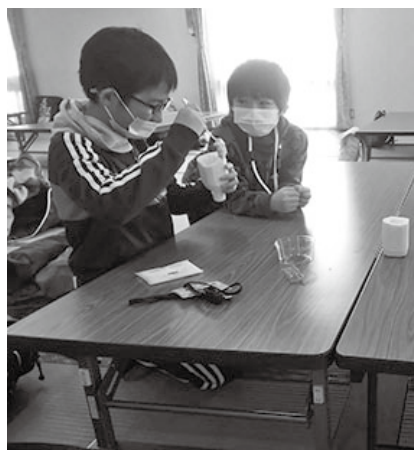
本町、貫気別の2地区で6月より開講してきた「リトルラビットクラブ（通称：リトラビ）」は、2月25日(木)の貫気別地区を最後に今年度の全日程を終了し、それぞれの地区で閉講式が行われました。

今年度は合計16回開催し、延べ276名（本町157名、貫気別119名）が学年を超えて交流しながら色々なスポーツを体験しました。



【犬ぞり体験】
2月27日(土)、小学生4、6年生を対象に日高西部ブロック広域社会教育事業がひだか高原荘周辺で開催されました。昨年までのスキー教室に変わり、「犬ぞり体験」が初めての試みとして行われ、平取町11名・日高町23名の計34名が参加しました。

【アイス作り】
9つの班に分かれ、雪と塩を入れた袋の中にアイスの材料の入った容器を入れてボールの形にして、キャッチボールやサッカーをしながら、混ぜた材料を冷やして固めました。



日高町と交流

「犬ぞり体験・アイス作り」

※ 図書ワゴン運行予定 ※

4月8日(木)

【振内地区】10:00～12:00 山の駅ほろしり館

【貫気別地区】14:00～16:00 貫気別生活館

■ 貸出期間は次の巡回日までになります。

■ 毎月第一木曜日に運行します。



平取町役場
総務課（代表） ☎ 2-2221
まちづくり課 ☎ 2-2222
アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
観光商工課 ☎ 3-7703
産業課 ☎ 2-2223
農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
税務課 ☎ 2-2224
出納室 ☎ 2-2225
建設水道課 ☎ 2-2226
議会事務局 ☎ 2-2227

ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111

町民課 ☎ 4-6113

保健福祉課
保健推進係・福祉係 ☎ 4-6112

介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114

児童館 ☎ 2-3026
子ども発達支援センター ☎ 2-3400

地域包括支援センター
「ほほえみ」 ☎ 2-3700

平取町教育委員会
生涯学習課 ☎ 2-2619

中央公民館 ☎ 2-2619

町民体育館 ☎ 2-2749

二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892

沙流川歴史館 ☎ 2-4085

図書館 ☎ 4-6666

役場振内支所 ☎ 3-3211

役場貫気別支所 ☎ 5-5204

平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201

平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267

平取町外 2 町衛生施設組合 ☎ 2-2024

平取消防署 ☎ 2-2361



図書館読み聞かせ（2/24）



アイス作り（2/27）

まちの人口と世帯数

（前月比）

人 口	4,770 人	(+ 1 人)
男	2,336 人	(+ 6 人)
女	2,434 人	(- 5 人)
世帯数	2,450 世帯	(+ 1 世帯)

※ 2 月末現在の住民基本台帳による

すずらん短歌会詠草

「すずらん短歌会」入会者募集！ 希望者は、中央公民館生涯学習課社会教育係へ

北の地に散りし歳三まだ夢は

五稜の堀に揺らめきいるか

熊谷厚子

窓ぎわでさえずり歌う小鳥いる

春のおとづれ感じているか

石川原 多満代

和が家の君子蘭が満開に

春と冬とが同居するなり

中原 千鶴子

毎水曜友と逢うのがたのしみで

一時間半の体操に行く

相田 のぶ子

立春に春待つ心ときめくも

目前の寒さ身の引きしまる

中 沢 三二子



ホームページ QR コード